

戦略的サプライヤマネジメントの導入支援

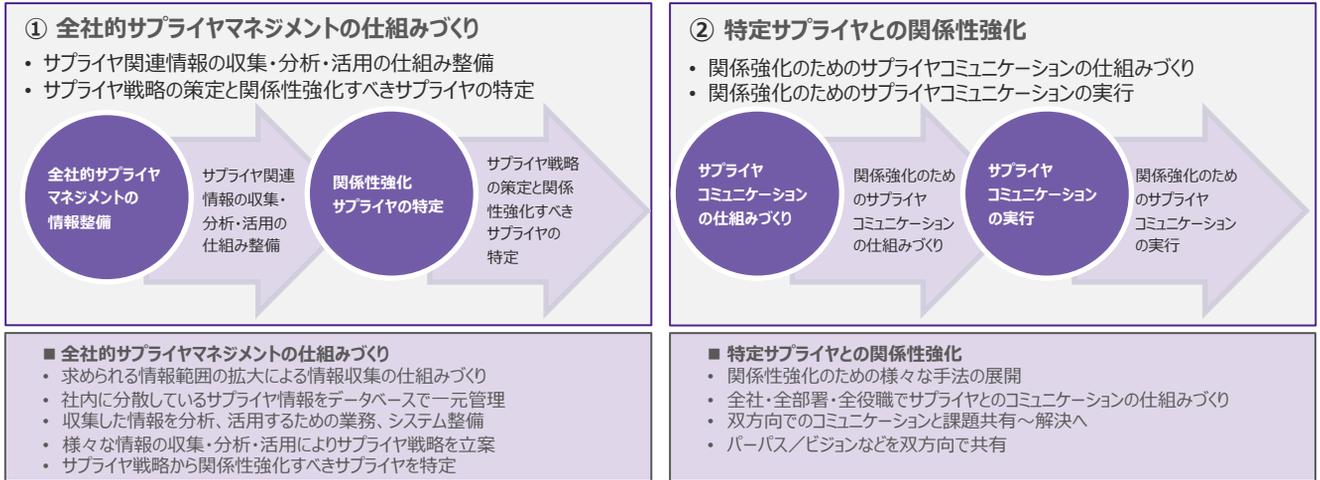
何故、戦略的サプライヤマネジメントか

- 近年の企業を取り巻く環境変化により、サプライヤマネジメントに求められる要件が変わっており、「全社のサプライヤマネジメントの仕組みづくり」や、「特定サプライヤとの関係性強化」などの『戦略的サプライヤマネジメント』が求められている

企業を取り巻く環境変化	内容
供給不足／サプライチェーン分断	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナによるロックダウン ・ 地政学リスクの顕在化（ウクライナ危機など） ・ コンテナ不足・湾岸閉鎖によるロジスティクスの混乱 ・ コロナ特需・コロナ後の供給ギャップ逼迫
サプライヤの力が相対的に強くなる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 供給不足によるサプライヤ地位の向上 ・ 川上（原材料・素材・電子部品・半導体）企業が相対的に力を持つ ・ 特に新興国企業がグローバルで競争力を持つ
サプライヤの取組み方針の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーパス/ビジョンの共有が双方で求められる ・ 事業目的の見直し（カーボンニュートラル、ESG投資） ・ CSRからSDGsへ ・ 量から質へ
全社的サプライヤマネジメントの仕組みづくりの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な情報範囲の拡大 ・ サプライヤ戦略策定のための情報収集・分析・活用の仕組みづくり ・ 関係性強化すべきサプライヤとのコミュニケーション強化

戦略的サプライヤマネジメントとは

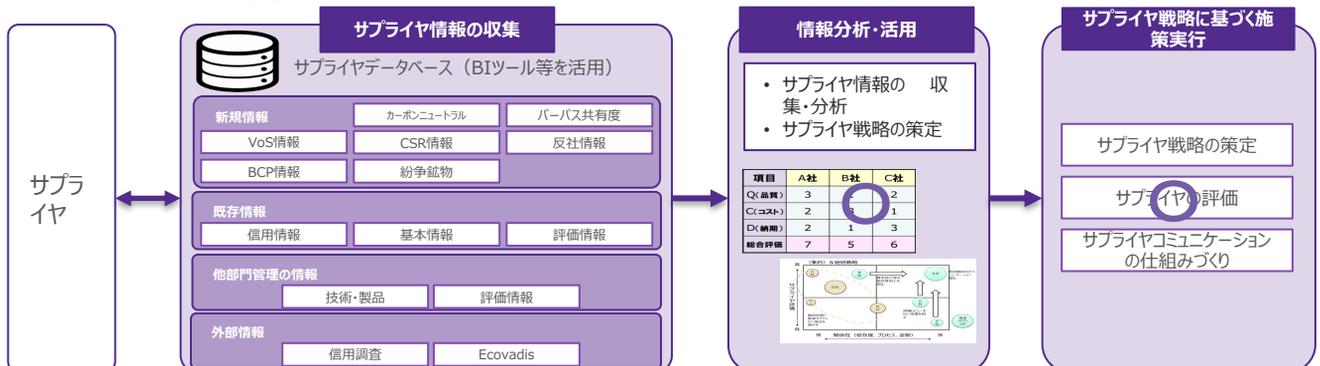
- 戦略的サプライヤマネジメントは ①「全社的サプライヤマネジメントの仕組みづくり」と ②「特定サプライヤとの関係性強化」により、供給不足などのサプライヤマネジメントの課題解決を目指す



全社的サプライヤマネジメントの仕組みづくり

- 従来、事業所／工場や各部門で保有していたサプライヤ情報をデータベースで一元管理し、全社的観点で情報収集・分析・活用することで、サプライヤ戦略の策定・実行を可能に

- ・ 様々なサプライヤ情報を収集し、サプライヤデータベースで一元管理
- ・ 網羅的な情報で分析し、サプライヤ戦略を策定
- ・ サプライヤ戦略に基づき、特定サプライヤとの関係性づくりへ



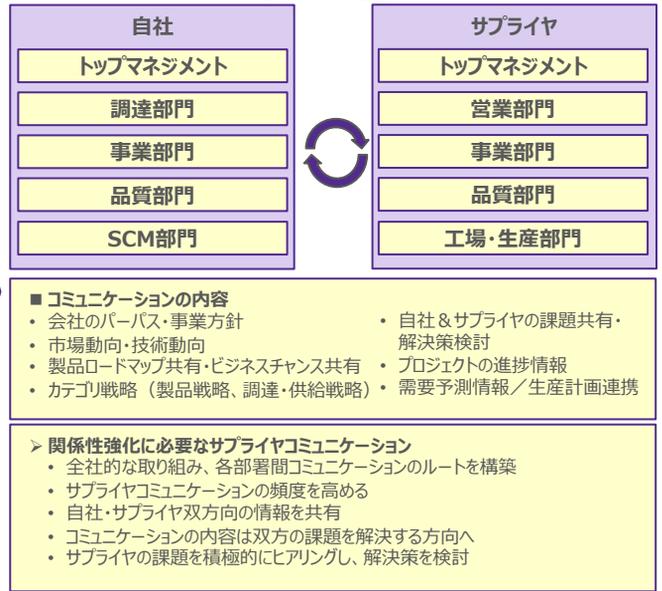
特定サプライヤとの関係性強化

■ ビジネスレビューの実施により、特定サプライヤとの関係性強化を図る

従来のサプライヤコミュニケーション



関係性強化に必要なサプライヤコミュニケーション ビジネスレビュー



「戦略的サプライヤマネジメントの導入」アプローチ

■ クニエでは豊富なプロジェクト経験をもとに、戦略的サプライヤマネジメントの導入を行い、早期にサプライヤに関わる課題解決を推進

